



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

令和4年 1月 17日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディエスディーゾーススイシンキョウギカイ

団体名 岡山市京山地区ESD・SDGs推進協議会

所在地

連絡先

フリガナ イケダ ミツユキ

代表者氏名 会長 池田 満之

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他
事業名称	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域(小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業実施回数	新規 ・ <input checked="" type="radio"/> 継続 8回目(平成27年度から)
課題	京山地区ESD・SDGs推進協議会は毎年、ESD・SDGsフェスティバルにおいて地域課題を論議している。昨年の第16回では「コロナ禍の中で“つらさ”“困難さ”をのりこえるために」という座談会を開催した。その中で、第10回には「自転車マナー問題」が出てきた。その論議を受けて、地域の絆プロジェクト企画委員会を中心として、「やさしく走ろう京山」運動を展開し、「自転車マナー問題」の解決を目指す。
事業の目的	地域住民の生活が安全・安心であることは最も大切なことの一つである。京山地区ESD・SDGs協議会では、ESD・SDGsの視点から見た京山地区の特徴を取りあげて検討し努力している。 ①京山地区の地域課題ランキングの第1位の「自転車のマナーの改善」、「やさしく走ろう京山」運動に取り組み、京山地区が安全で安心できる地域を作っていく。 ②「やさしく走ろう京山」運動を通して、“自転車先進都市おかやま”をめざす先進的な取り組みにする。

<p>事業の内容・感染防止対策の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・このコロナ禍の状況では、運動に様々な制約が加えられると考える。したがって、今年度の重点を今まで以上に伊島、津島小学校、京山中学校に置く。 ・「やさしく走ろう京山」運動の認知度を小中学生に深めるために、「やさしく走ろう京山」の啓発プレート、啓発ステッカー、さらに宣伝のためのロゴの入ったファイルなど児童、生徒に配布し、「やさしく走ろう京山」の文字・ロゴの“見える化”を進める。 ・感染症対策が十分され、伊島、津島小学校の交通安全教室が開催されれば、出向いて、「やさしく走ろう京山」運動の趣旨を伝える。 ・伊島小学校、津島小学校、京山中学の児童、生徒あてに「やさしく走ろう京山」運動についての意識を深めるアンケートを実施する。 ・「やさしく走ろう京山」運動のポスターを公民館、交番、各学校、町内会など、京山地区の様々な場所に掲示する。 ・啓発プレート、啓発ステッカー、ポスターを公民館、いづみ町交番に常時置く。また、その場所を拡充する。 ・一昨年、昨年はコロナの影響による岡山大学のオンライン授業の実施などにより中止を余儀なくされたが、令和4年度もコロナ対策を徹底し、岡大、警察署と協議しながら、岡山大学前交差点での「自転車マナー向上協働行動」の継続化をめざす。 ・伊島学区、津島学区、隣接する御野学区、岡山大学事務局、岡山大学のボランティア学生組織「岡山大学地域つながり隊」、岡山西警察署、岡山市の自転車都市推進担当課などとの協働の運動を行い、「自転車先進都市おかやま」のモデル事業をめざす。 ・保育園、幼稚園、小学校の保護者への働きかけを強める。 ・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の啓発を促す。この運動を新聞・テレビなど地域のマスコミにアピールする。 ・「自転車マナー向上交通教室」を開催する。 ・CO2測定機により、各種会議での感染対策を行う。
<p>期待される成果・目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「やさしく走ろう京山」を広げ、啓発プレート・ステッカーを付けること、ポスター、のぼりなどによって自転車マナー意識の向上を行い、歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域になること。 ・「やさしく走ろう京山」運動を発端とし“自転車先進都市おかやま”への取り組みが進む。 ・各小学校児童、京山中学校生徒へのアンケートを実施した結果、「やさしく走ろう京山」運動の認知度を50%以上にする。
<p>企画などの工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「やさしく走ろう京山」の文字・ロゴの“見える化”を進める。 (ポスター、のぼり、クリアファイルなど) ・「やさしく走ろう京山」の啓発プレート、啓発ステッカーを使い、運動をより広める。 ・現在協働行動ができている、隣接の御野学区、岡山大学・岡山市の自転車都市推進担当課など関係団体と協働行動をさらに強める。また、この協働行動を「自転車先進都市おかやま」をみすえて、協働の運動を行う。他学区にも広げるように努める。
<p>協働する団体等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市立伊島小学校 ・岡山市立津島小学校 ・岡山市立京山中学校 ・御野学区各種団体 ・岡山大学・岡山大学地域つながり隊 ・岡山市自転車都市推進担当課などの関係各課 ・京山中学校区各町内会 ・伊島・津島学区コミュニティ協議会 ・伊島・津島学区交通安全対策協議会 ・伊島・津島学区交通安全母の会 ・伊島・津島学区安全安心ネットワーク・伊島・津島学区老人クラブ ・明誠学院高等学校、岡山工業高等学校 ・岡山商科大学附属高等学校

事業の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の絆プロジェクトだより」（年4回発行）を地域の全戸に配布（約1万世帯） ・京山地区ESD・SDGs推進協議会や京山地区地域安全パトロール隊、参加団体への取り組み説明。 ・オニビジョン、山陽新聞などマスコミ関係に積極的に呼びかけ。
学区地区への広がり	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター掲示、のぼりの設置を充実させる。 ・「自転車マナー向上協働行動」を軸に他地区、岡山市全体への働きかけをし、「自転車先進都市おかやま」を目指す。
前年度からの見直し拡充点	<ul style="list-style-type: none"> ・「やさしく走ろう京山」の文字・ロゴの“見える化”進めるために、ロゴ入りクリアファイルを制作配布する。 ・京山中学生徒へのアンケートの実施に加え、伊島、津島小学校児童へアンケートを実施し、「やさしく走ろう京山」運動の認識度を50%以上とする数値目標を掲げる。 ・「自転車マナー向上協働行動」をコロナの状況、岡大の状況を見ながら、各学期1回の開催を定着させ、他の地区、他の学校との協働行動を模索して、「自転車マナー向上協働行動」の拡充を図りたい。また、そのことを通して岡山市全体へのとりくみの働きかけをしたい。
次年度以降の予定	<p>① 次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やさしく走ろう京山」運動についての認知度を地域住民、小中学生に深めるために、ポスター、のぼり旗による呼びかけを行う。 ・啓発プレート、ステッカー配布を積極的に進め、「自転車マナー」向上の意識を高めたい。 ・隣接学区、高校、大学への協働行動を呼びかける。 ・京山地区の中学生、高校生の自転車運転マナー向上のために呼びかけ強化する。 <p>② 資金の確保について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p><input type="checkbox"/> () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</p> <p>○ 資金確保の具体的な方策： 協賛金・協力金募集の趣意書を配布し、参加団体などに呼びかけ、資金確保に努める。 また、引き続き全労済からの補助金を得る。</p>
その他PRしたい点	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でなかなか思うような活動ができない状況の中でも、コロナ対策を徹底し、できる限りの活動をしたい。 ・この事業は継続実施の必要性があることは明らかである。令和4年度以降も啓発プレート、ステッカー「やさしく走ろう京山」の配布、「地域の絆プロジェクトだより」の発行を引き続き続けていく。 ・「やさしく走ろう京山」の文字・ロゴの“見える化”より一層進める。 ・御野学区、岡山大学との協働行動「自転車マナー向上協働行動」は学区を超えたという点で画期的なことだと考えているこれをさらにすすめていきたいが、コロナの状況次第である。

事業スケジュール 随時、プレート、ステッカー配布

月日	活動内容
4月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 (文字・ロゴの“見える化”を進める論議をする) 交通安全週間 ポスターを関係機関へ配布 伊島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布
5月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 (文字・ロゴの“見える化”を進める論議をする) 「自転車マナー向上協働行動」の実施 伊島認定こども園へプレート、ステッカー配布 ポスターを関係機関へ配布
6月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布 津島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布
7月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山中学校へプレート、ステッカー配布 京山中学校でのアンケート調査
8月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
9月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上交通教室」開催 交通安全週間 「地域の絆プロジェクトだより」配布 ポスターを関係機関へ配布
10月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 地域のイベントで啓発プレート、ステッカー、ポスター配布
11月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
12月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布
1月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区ESD・SDGsフェスティバル 「自転車マナー向上協働行動」の実施
2月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
3月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布

収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	192,272	211,800	
実施団体負担金	17,272	35,000	京山地区ESD・SDGs推進協議会
参加者負担金			
協賛金	45,000	40,000	交通対策協議会・安全安心ネットワーク等
寄附金、他収入	130,000	130,000	
収入合計	384,544	416,800	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	384,543	384,000	啓発プレート・ステッカー・のぼり作成代 210,000円/一式 クリアファイルなど”見える化”用品作成代 84,000円/一式 地域の絆だより・チラシ、ポスター作成代 90,000円/一式
②食糧費		24,000	活動スタッフ 飲み物代
③印刷製本費			
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費		2,000	企画委員会案内郵送代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
小計(①)	384,543	410,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費		6,800	CO2濃度測定機(オートリッチ, NDIR方式)
小計(②)		6,800	
支出合計(①+②)	384,543	416,800	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ○希望しない
----------------	----------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

--

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。